

# 子ども園

# After School Project

立教大学 松尾ゼミA

石橋笑美奈 上村遥 後藤和輝

○中島輝 永野紗緒理 六笠紘史

# 目次

- 緒言
- 研究方法・結果
  - ▽ 先行研究
  - ▽ 現状と課題
- まとめ・政策提言
  - ▽ まとめ
  - ▽ 政策提言
  - ▽ 期待される効果
- 参考文献

# 緒言



## 幼児期における 運動・遊びの機会減少



# 緒言

幼稚園

保育園

こども園

文部科学省

厚生労働省

内閣府

各園によって管轄が異なる

# 緒言

保育園

こども園

幼稚園

スポットを当てる

# 緒言

**幼児期における  
運動遊び促進案を  
提言する。**

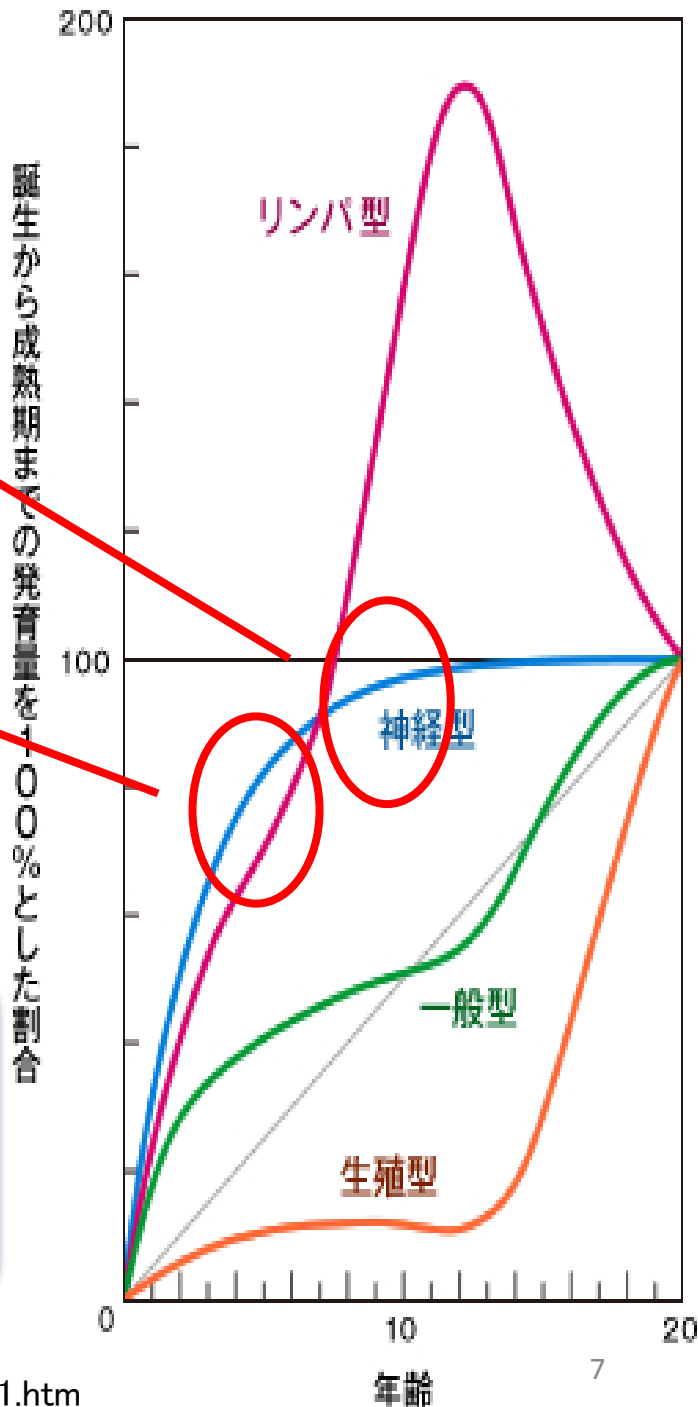
# 先行研究

## ～乳幼児期の運動の重要性～

ゴールデンエイジ  
(9歳～12歳)

プレゴールデンエイジ  
(3歳～8歳)

脳神経系は、4歳～5歳までに80%、10歳までには90%発達する



「現代の社会は、科学技術の飛躍的な発展などにより、生活が便利になっている。(中略)一般的な生活をするためだけであれば、必ずしも高い体力や多くの運動量を必要としなくなっており、そうした大人の意識は、子どもが体を動かす遊びをはじめとする身体活動の軽視につながっている。」

[幼児期運動指針：文部科学省(2012)]



# 先行研究

# こども園とは

## 幼稚園

- 幼児教育
- 3歳～就学前の子ども

## 保育所

- 保育
- 0歳～就学前の子ども  
(保育を必要としている)

就学前の教育保育を一体として捉え、  
一貫して提供する枠組み

幼児教育  
保育を提供

地域  
子育て支援

保護者が働いて  
いる、いないにか  
かわらず受け入  
れて、教育・保育  
を一体的に実施

すべての子育て  
家庭を対象に、子  
育て不安に対応し  
た相談活動や、親  
子集いの場の提  
供などを実施

認可・認定

追加機能

追加機能

先行研究

こども園とは

こども園は、幼稚園と保育園の

ハイブリッド型！

社会や家庭を取り巻く環境を考慮し、保護者の多様化するニーズに応えるため、平成18年度より提供された仕組み

認定こども園は内閣府が管轄

**幼保連携型**  
(2,785か所)

**認定  
こども園**  
(4,001か所)

**幼稚園型**  
(682か所)

**保育所型**  
(474か所)

**地方裁量型**  
(60か所)

(内閣府, 2016)

幼保連携型	幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設
幼稚園型	認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えた施設
保育所型	認可保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えた施設
地方裁量型	幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たす

## 先行研究

# こども園の教育・保育

教育・保育内容は、**幼保連携型認定こども園**

**教育・保育要領**を踏まえて教育・保育を実施

(幼稚園型は幼稚園教育要領、保育所型は保育所保育指針に基づくことが前提)

0歳から小学校就学前  
までの一貫した  
教育及び保育

+

小学校教育への  
円滑な接続

# 現状と課題 子ども園調査概要

## 調査概要

①対象：埼玉県志木市の子ども園 A園

教員A氏、B氏

②時期：2016年9月26日

③方法：半構造化インタビュー

（事前に送った質問内容をもとに聞き取り調査）

④特性：幼保連携型

# 現状と課題 | 子ども園調査項目

## 調査項目の構造

- **子どもの基本的属性**
- **運動・遊びに対する考え方**
- **運営での問題点**

### 得られた結果

- 園内に幼稚園、保育園を構えている。
- 基本的に両園の園児同士も一緒に遊ぶことはない。
- 職員同士も互いの状況をあまり把握していない。
- 週2日、外部の体育指導員を招き、園児に運動を行わせている。
- 放課後に園庭を開放しているが、遊んでいる子はわずか。
- 小学校との連絡会を設けている。  
(就学前の園児の情報交換のみ)

# 現状と課題 : 補足 幼稚園調査概要

## 調査概要

- ①対象： 神奈川県大和市の幼稚園 B園  
教員C氏、D氏
- ②時期： 2016年8月30日
- ③方法： 半構造化インタビュー  
(事前に送った質問内容をもとに聞き取り調査)



# 現状と課題 :補足 保育園調査概要

## 調査概要

- ①対象： 東京都杉並区の保育園 C園 教員E氏
- ②時期： 2016年8月29日
- ③方法： 半構造化インタビュー  
(事前に送った質問内容をもとに聞き取り調査)

## 得られた結果

### 〈幼稚園〉

- **子どもの発育発達段階、子どもの体力状況に合わせた運動プログラムの展開が難しい。**

### 〈保育園〉

- **発育発達段階を意識したプログラムが少ない。**
- **子どもの運動に対する保護者の関心にはばらつきがある。**

まとめ

# 支援策の方向性



**「幼稚園」と「保育園」の両方の側面を持つ  
子ども園へのアプローチ**

# まとめ

## 子ども園の課題 (調査結果から得た3つの課題)

- 子ども園内の幼稚園・保育園の連携はなく、互いの状況把握が出来ていない  
⇒ それぞれの園で運動の実施機会や内容が異なる
- 教育と保育が一体化した施設であるため、保護者間で、子どもを園に通わせる根本的な目的が異なっている。  
⇒ 保護者の教育観(子どもの運動への関心を含む)がばらついてしまう
- 保育園と幼稚園の連携及び、幼稚園と小学校の連携がない  
⇒ 乳幼児期から小学校までの一貫した運動プログラムの展開ができていない

# まとめ

# 支援策のポイント

運動実施機会の  
違いをつなぐ

子ども園

3つのポイント

保護者同士によ  
る教育観の違い  
をつなぐ

乳児→幼児→小学生  
繋がりのない運動プ  
ログラムをつなぐ

# 政策提言

支援策名

子ども園

*After School Project*

# こども園 After School Project

## ASP(After School Project)クラブ

- ▶子ども園の開放された園庭を使用
- ▶1~2 時間程度の運動
- ▶週 4~5 回実施
- ▶ASPクラブ指導者(大学生等)による指導

## プログラム開発

- ▶乳児→幼児→小学生  
に求められる運動の系統性を重視したプログラム

親子イベント



セミナー開催

運営体制

財政支援

社会福祉法人  
市、区役所



連携

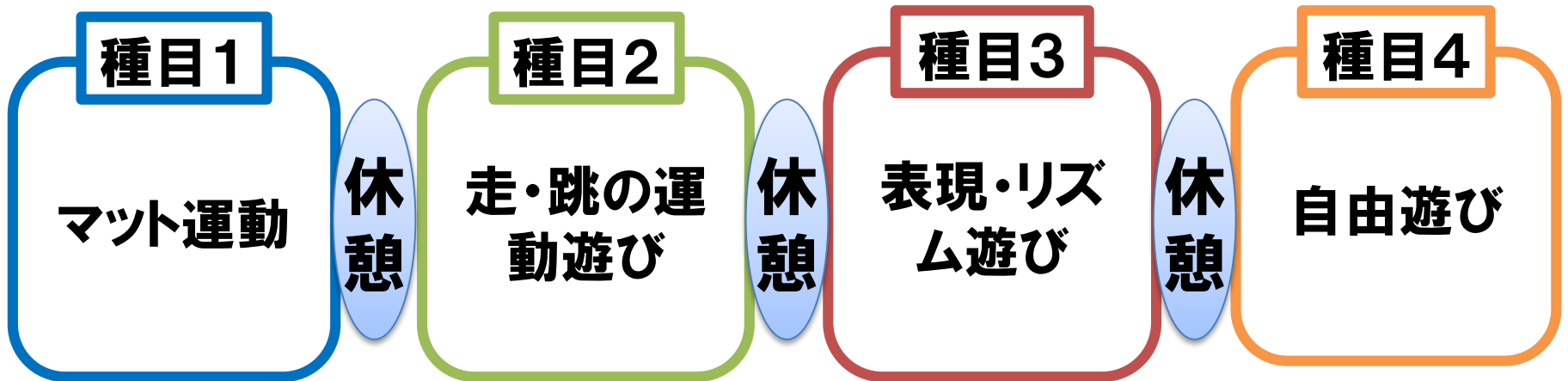
ASP クラブ実行委員会

大学生  
子ども園の園長先生、教員  
保護者

# 政策提言

## ①ASPクラブ (プログラム構成)

### 2～3歳児・3～5歳児運動プログラム



※プログラム内容により多少の変更あり



# 政策提言

## ASPクラブ (運動プログラム内容①)

### マット運動

#### 2～3歳児

- でんぐり返り
- 大根抜き
- ブリッジ
- 片足立ち  
(一本線上)

#### 3～5歳児

- でんぐり伝言  
ゲーム
- ブリッジリレー
- 片足ボールリレー  
(バケツリレー)

### 小学校

器械運動系

# 政策提言

## ASPクラブ (運動プログラム内容②)

### 走・跳の 運動遊び

#### 2～3歳児

- ・パン食い競争
- ・100cm走  
(世界ゆるスポーツ協会参照)

#### 3～5歳児

- ・パン食い競争  
(点数あり)
- ・100cm走  
リレー

#### 小学校

陸上運動系

# 政策提言

## ASPクラブ (運動プログラム内容③)

### 表現・リズム 遊び

#### 2～3歳児

- ・旗上げゲーム
- ・ものまねゲーム
- ・だるまさんが転んだ

#### 3～5歳児

- ・ものまね伝言  
ゲーム
- ・だるまさんが  
○○した

#### 小学校

表現運動系

### 自由遊び

ASP実行委員会の見守りのもと(2～3歳、3～5歳別)で自由時間(自由遊び)を設ける。

遊びのプログラムの他、用具など必要に応じて貸し出し。

### ～用具例～

ボール(サッカーボール、テニスボール、スポンジボールなど)、フラフープ、縄跳び、竹馬、ゼッケン、カラーコーン

など…

# 政策提言

## ②親子スポーツイベント

- ・対象者：子ども園の園児と保護者（40名）
- ・実施日：2017年8月中旬又は下旬  
（夏季休業中に2回実施）
- ・時間：9:00～11:30
- ・主催：ASPクラブ実行委員会
- ・スタッフ：子ども園の教員2名、  
ASPクラブ指導者（大学生8名）
- ・協力：子ども園（指導面・広報面）、大学（施設面）
- ・場所：大学の体育館



## 親子スポーツイベント (内容とポイント)

親子運動遊び  
プログラム  
実施

スポーツ保育  
セミナー実施

- 保護者の運動意識の向上を図る
- スポーツ保育セミナーを通して乳幼児期の運動遊びの重要性を知ってもらう
- ASPの活動への理解を深め、参加者を増やす

# 政策提言

## 親子スポーツイベント (1日スケジュール)

9:00~

開会式

準備体操

9:20~

運動遊びプログラム

(全4種目)

10:50~

クールダウン

11:00~

スポーツ保育セミナー

イベントに関するアンケート実施

11:30~

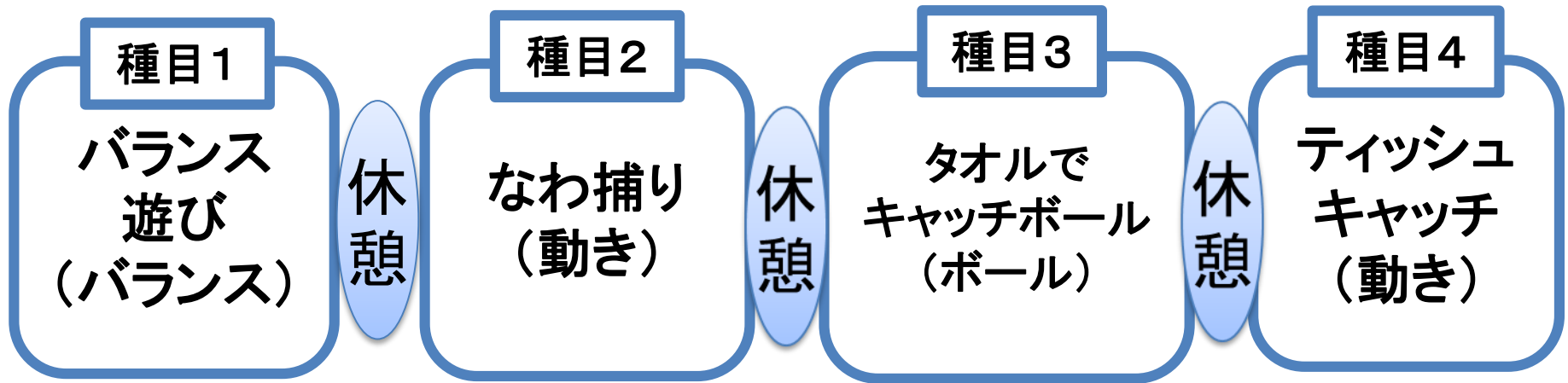
イベント終了



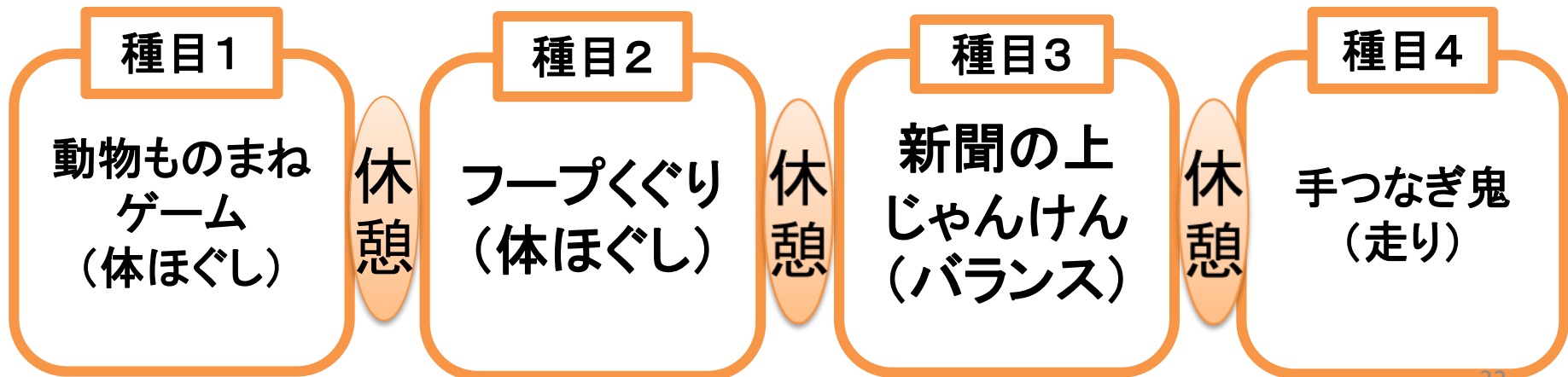
# 政策提言

## 親子運動遊び(プログラム内容)

### —幼児期前期対象(2～3歳)—



### —幼児期後期対象(3歳～5歳)—





# 政策提言

## スポーツ保育セミナー (内容)

1. 子ども達の運動能力の実態

2. 乳幼児期の運動遊びの重要性

3. ASPの活動(ASPクラブ)について



## ASPクラブ 実行委員会

- ・大学生（16名）
- ・子ども園の園長先生及び教員（2名）
- ・保護者（10名）

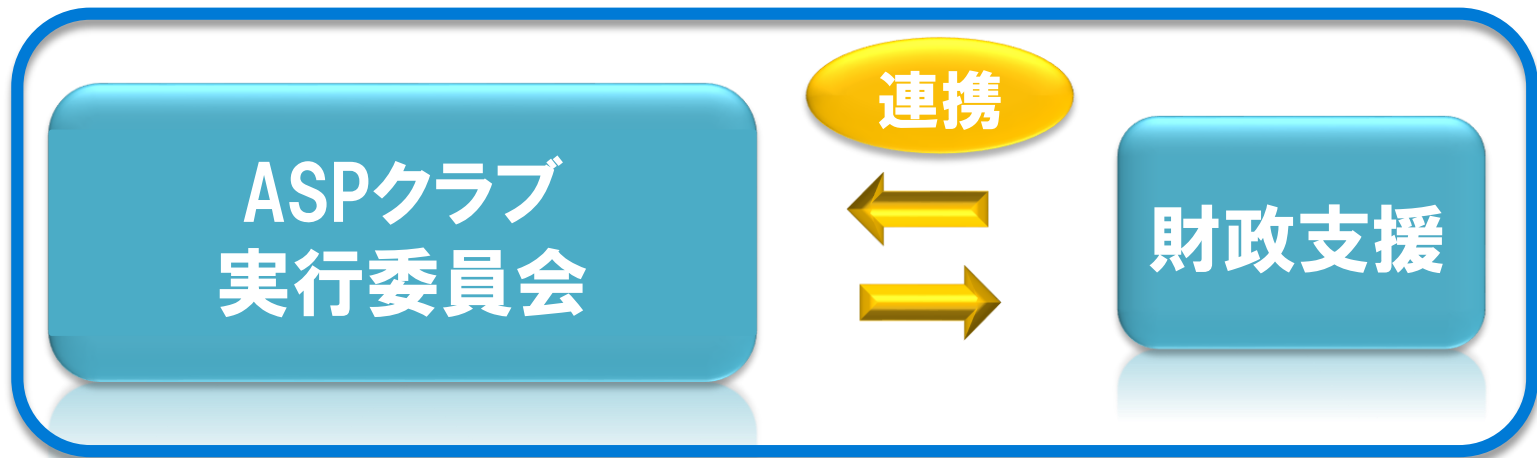
## 政策提言

# 大学生ASP実行委員 募集方法

- 各学科のメーリングリストを利用
- 大学内でのチラシ配布活動
- 授業内における団体PR活動  
(福祉系講座、教職講座を中心に)

# 政策提言

## 運営体制(財政面)



(例)板橋区放課後対策事業「あいキッズ」  
→区内の小学生を対象に放課後の居場所を提供



社会福祉法人、NPO、区、市役所からの財政支援

# 政策提言

# 運営費用(1年間の総額)

## ASP(After School Project)クラブ

週4回開催

- ・人件費(子ども園教員2人、大学生4人)  
⇒ 1,269,504円
- ・広報費(大学内・子ども園内で配布するチラシ、ポスター)  
⇒ 6,000円
- ・用具費 ⇒ 17,539円
- ・保険料(スポーツ安全協会) ⇒ 800円/年
- ・施設費(子ども園内を使用) ⇒ 無償

人件費+広報費+用具費  
1,269,504円+ 6,000円 +  
17,539円=1,293,043円

↓  
1,293,043円/年

## 親子イベント + スポーツ保育セミナー

年2回開催

- ・人件費(子ども園教員2名、大学生8人)  
⇒ 22,040円
- ・広報費(子ども園内で配布するチラシ、ポスター)  
⇒ 5,000円
- ・アンケート用紙費用(印刷代金) ⇒ 1,000円
- ・保険料(旧保険団体プラン) ⇒ 200円/年
- ・施設費(大学内を使用) ⇒ 無償

人件費+広報費+アンケート用紙費  
22,040円 + 5,000円 + 1,000円  
= 28,040円

↓  
28,040円/年

財政支援

- ・社会福祉法人
- ・区・市役所

# 期待される効果

支援策を実行することで以下の効果が期待できる。

- ① **運動の習慣化を通して基礎体力の向上と生涯スポーツの基盤づくりができる。**
- ② **幼稚園と保育園の異なる教育内容や体制をこえて、すべての子どもに運動遊びを提供できる。**
- ③ **ASPのモデルが確立できれば、他の多くの子ども園、幼稚園、保育園にも応用が可能。**

# 主な参考文献

- ・100cm走 | 世界ゆるスポーツ協会 <http://yurusports.com/sports/100cmrun>  
(参照日2016年10月22日).
- ・健全育成のための活動プログラム  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo\\_kosodate/kosodate/katsudou\\_program/program/files/01\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/kosodate/katsudou_program/program/files/01_01.pdf)  
(参照日2016年10月15日).
- ・子供の成長について[http://www.bea.hi-ho.ne.jp/y-kondou/page\\_1.htm](http://www.bea.hi-ho.ne.jp/y-kondou/page_1.htm)  
(参照日2016年9月8日).
- ・小山郁(2005)子どものスポーツ障害、山海堂.
- ・日本体育協会(2015)幼児期からのアクティブチャイルドプログラム、日本体育協会.
- ・認定こども園概要 - 子ども・子育て支援新制度 - 内閣府  
<http://www8.cao.go.jp/shoushi/kodomoen/gaiyou.html>  
(参照日10月19日) .
- ・幼児期運動指針: 文部科学省(2012)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/undousisin/1319771.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/undousisin/1319771.htm)  
(参照日9月19日)